

平成28年1月 市薬研修案内

会員各位

一般社団法人福岡市薬剤師会

下記のとおり、研修会を開催いたします。

◇開催場所：福岡市薬剤師会館 4F 講堂 福岡市中央区今泉 1-1-1 TEL：(092) 714-4416

開催日	研修会名	演題・講師など
1月14日 (木) 19時30分	東大・薬剤師会 育薬セミナー 《学術・研修委員会》	<p>テーマ：5α還元酵素1型/2型阻害薬、男性型脱毛症治療薬 デュタステリド</p> <p>製品名：ザガーロカプセル 0.1 mg/0.5 mg (グラクソ・スミスクライン)</p> <p>講師：東京大学大学院 薬学系研究科 育薬学講座 教授 澤田 康文 先生</p> <p>◇PS項目：1-1-1/1-2-1・2/1-3-1~4/2-1-4・6・22・24・26・29・30 2-2-79~80・120~123・127~136・140~153 2-3-1・3~5・31~38/4-1-1~5</p>
1月18日 (月) 19時30分	薬物療法研究会 《学術・研修委員会》	<p>情報提供：C型肝炎治療薬「ヴィキラックス」(アッヴィ)</p> <p>演題：「C型肝炎の本邦における現状と薬物治療の最前線」</p> <p>演者：福岡大学病院 消化器内科 診療部長 向坂 彰太郎 先生</p> <p>◇PS項目：2-1-24・29/2-2-26~28・103・152・153 2-3-9・36</p> <p>【要旨】従来のC型肝炎治療は、インターフェロンを用いた治療が主流でしたが、この治療法では、高いウイルス消失効果が得られず、かつ、多くの副作用が問題となっていました。一方、昨年より、インターフェロンを使わず、1日1~2回の経口の抗ウイルス薬(Direct-Acting Antivirals Agents、DAAs)を3~6ヶ月服用する新治療法が登場しました。この治療法では、インターフェロン治療でみられた多くの副作用がなく、さらに、80%を超えるウイルス消失が認められています。</p> <p>本講演では、C型肝炎の本邦における現状と、最新のDAA製剤を用いたC型肝炎治療の有効性、安全性を紹介します。</p>
1月21日 (木) 19時30分	東大・薬剤師会 育薬セミナー 《学術・研修委員会》	<p>テーマ：セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害剤 ベンラファキシン塩酸塩</p> <p>製品名：イフェクサー SR カプセル 37.5 mg/75 mg (ファイザー)</p> <p>講師：東京大学大学院 薬学系研究科 育薬学講座 教授 澤田 康文 先生</p> <p>◇PS項目：1-1-1/1-2-1・2/1-3-1~4/2-1-4・6・22・24・26・29・30 2-2-74~76・120~123・127~136・140~153 2-3-1・3~5・19・31~38/4-1-1~5</p>
1月26日 (火) 19時30分	薬物療法研究会 《学術・研修委員会》	<p>情報提供：アトピー性皮膚炎治療剤「プロトピック軟膏」(マルホ)</p> <p>演題：「アトピー性皮膚炎の適切な治療 —外用療法を中心に—」</p> <p>演者：九州大学大学院 医学研究院皮膚科 体表感知学講座 准教授 中原 剛士 先生</p> <p>◇PS項目：1-4-5/2-1-29/2-2-79・80・90/2-3-27/3-1-12</p> <p>【要旨】アトピー性皮膚炎(AD)は、皮膚の乾燥やバリア機能異常という皮膚の生理学的異常を伴う、様々な外来抗原に対する皮膚での過剰な免疫応答であり、癢痒のある湿疹・皮膚炎が軽快・増悪を繰り返す疾患である。治療方法はその病態に基づいて、①炎症に対するステロイド外用薬やタクロリムス軟膏による外用療法、②皮膚の生理学的異常に対する保湿剤の外用やスキンケア、③掻痒に対する抗ヒスタミン薬・抗アレルギー薬の内服、④悪化因子の検索と対策、の4点が基本になる。今回は、ADの治療法について、特に外用指導のコツや寛解維持療法として近年注目されているプロアクティブ外用治療についてお話ししたい。</p>

開催日	研 修 会 名	演 題 ・ 講 師 など
1 月 30 日 (土) 16 時 30 分	第 19 回 学校薬剤師 研究大会 《学校薬剤師委員会》 <u>※開催場所に ご注意ください。</u> <u>※資料準備のため 事前申込をお願い します。</u>	<u>開催場所：天神スカイホール（旧：福岡国際ホール）</u> 福岡市中央区天神 1-4-1 西日本新聞会館 16F <u>簡専水委員会連絡</u> 「簡専水事業と学校薬剤師との連携について」 一般社団法人福岡市薬剤師会 簡専水委員会委員長 竹野 将行 <u>研究発表</u> 「中学 2 年生の『危険ドラッグ』の認知度を探る」 一般社団法人福岡市薬剤師会 学校薬剤師 福岡 英樹 <u>特別講演</u> 「これからの薬物乱用防止教育について—健康教育を支える—」 公益社団法人日本薬剤師会 公衆衛生委員会副委員長 公益社団法人日本薬剤師会 学校薬剤師部会 富永 孝治 幹事

☆研修会の動画配信システムについて（福岡市薬剤師会 会員向けサービス）

福岡市薬剤師会の会員の先生方は、福岡市薬剤師会の会員向けホームページで過去の研修会の動画及び配付資料を閲覧することが出来ます。

閲覧の際は、事前に登録をお願いいたします。詳しくは、事務局へお問い合わせください。

◇PS（プロフェッショナルスタンダード）項目について

薬剤師が生涯にわたって学習すべき項目をまとめた「プロフェッショナルスタンダード(PS)」(日薬作成)の該当項目を研修一覧に追加しました。(一覧は、市薬ホームページにてご確認ください。)

◇研修会資料は福岡市薬剤師会ホームページの学術研修委員会資料に掲載しています。

◆取得研修単位：1 単位 ※育薬セミナーシールのみ 1.25 単位 (研修カードをご持参ください)

※県薬研修カードをお持ちの方は、必ずご持参下さい。

※研修会の開始時刻より 20 分以内に受付を済まされた方には、受講証明書を発行いたします。

その後受付けの方は、受講は可能ですが受講証明書の発行は出来ませんのでご了承ください。

※研修単位は、申請状況によっては単位が認められない場合もございます。ご了承下さい。

◆受 講 料：福岡市薬剤師会所属の A 会員・B 会員・研修メンバー会員の先生は、無料。

薬学生は無料。(薬学生は、学生証をお持ち下さい。)

それ以外の方(非会員を含む)は、資料代として 1000 円の負担をお願いします。

※福岡市薬剤師会で開催される研修会・説明会等の運営は、保険薬局会費により運営しております。

詳しくは、福岡市薬剤師会事務局へお問い合わせください。(TEL：092-714-4416)